

令和6年度 事務事業評価表

事務事業名	11 法人後見に関する業務		担当	権利擁護係	事業種別	自主事業
開始年度	平成27年度	計画体系	基本目標3—実施計画4—(3)法人後見事業の実施			
根拠法令等	法人後見事業実施規程、法人後見支援員設置規程、成年後見センター運営委員会規程					
事業区分	公益事業	サービス区分	成年後見センターサービス区分			
事務事業目的	認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など意思決定が困難な人の判断能力を補うため、市社協が成年後見人、保佐人、補助人となることにより、成年被後見人、被保佐人又は被補助人の財産管理、身上保護を行い、その権利を擁護することを目的に実施する。					
実施内容	<p>【法人後見事業の実施状況】（ ）内は前年度数値</p> <p>① 法人後見受任件数 13件（12件） ※年度末受任件数 後見類型 12件（12件）、保佐類型 1件（0件）、補助類型 0件（0件）</p> <p>② 新規受任件数 2件（4件）</p> <p>③ 終了件数 1件（1件）</p> <p>④ 利用者の状況 13名（12名） ※年度末利用者数 認知症高齢者等 9名（8名） 知的障がい者等 4名（4名） 精神障がい者等 0名（0名）</p> <p>⑤ 後見実務活動状況 ※延べ回数 訪問実施回数 245回（217回） 後見事務回数 2,216回（2,009回）</p> <p>⑥ 法人後見支援員数 8名（8名）</p> <p>⑦ 法人後見事業実務調査の実施 1回（1回）</p> <p>⑧ 法人後見支援員連絡会及び研修会の実施 2回（3回）</p>					

指標		指標の根拠	単位	区分	R4	R5	R6
活動	法人後見受任件数	成年後見センターの中期的な取り組み目標	件	目標	15	15	20
				実績	12	13	
活動	後見実務活動状況	前年度の実績	回	目標	2335	2009	2216
				実績	2009	2216	
				目標			
				実績			

備考	
----	--

コスト内訳(円)		R4	R5	R6	
収入	特定 財源	利用料収入	1,557,000	1,940,600	
		成年後見制度利用支援事業収入	792,000	842,400	
		市補助金収入	6,436,468	2,805,548	
		特定財源合計 (a)	8,785,468	5,588,548	
		一般財源 (b)	0	587,666	
	収入合計 (c)	8,785,468	6,176,214		
支出	事業費 (b)	983,084	505,119		
	正規職員人件費	3,257,200	3,127,200		
	業務量(人)	0.4	0.40		
	嘱託職員人件費	3,564,880	3,780,090		
	業務量(人)	0.88	0.97		
	臨時職員人件費	1,366,200	2,638,340		
	業務量(人)	0.55	1.06		
	人件費合計 (e)	8,188,280	9,545,630		
	支出合計 (f)	9,171,364	10,050,749		

単位当たりコスト(円)		R4	R5	R6
単位の定義		後見実務活動		
実績数値 (g)		2,226	2,216	
単位当たりコスト(円) (f/g)		4,120.1	4,535.5	
実質収支比率(%) (c/f)		95.8	61.45	

実施状況に対する 評価	<p>運営委員会委員より選出された調査員による実務調査では、すべての項目で「適」と判定され法人後見業務は適切に実施できている。被後見人等の身上保護や財産管理を行う後見業務の実施回数は、1名当たり16回/月となっており十分な支援が実施できている。</p> <p>また、令和5年度は、後見人1件、保佐人1件を新規に受任しているが、日常生活自立支援事業の利用者で成年後見制度への移行が必要な2件については、複合的な課題があり専門的な支援が必要なことから、本会ではなく専門職が受任候補者となったこと、高齢の被後見人の死亡による終了が1件あったことから、目標とした15件の受任件数には至らなかった。法人後見事業についてさらに市民に広報する必要がある。</p>
------------------------	--

今後の方向性 【継続】	<p>判断能力の低下により成年後見制度の利用が必要な人のうち、日常生活自立支援事業の利用から成年後見制度への移行が必要な人や社会福祉協議会の持つ福祉的な専門性を活かすことができ、身上保護が中心で他に適切な成年後見人等がない人の権利を擁護するため、社会福祉協議会が法人として成年後見人等を受任する法人後見事業は必要であると考えられることから継続実施とする。</p> <p>また、市民後見人養成講座の受講を修了した人を法人後見支援員として委嘱し、市民参加による権利擁護の推進に努める。</p>
------------------------	--

令和6年度 事務事業評価表

事務事業名	12 成年後見センターの運営		担当	権利擁護係	事業種別	市受託事業
開始年度	令和2年度	計画体系	基本目標3ー実施計画4ー(2)成年後見制度の利用促進、権利擁護の普及啓発の実施			
根拠法令等	成年後見センター運営規程、成年後見センター運営委員会規程					
事業区分	公益事業	サービス区分	成年後見センターサービス区分			
事務事業目的	認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者などで判断能力が不十分な人が、適切に制度を利用できるよう、成年後見制度の広報・啓発に努め、相談や利用支援及び後見人支援等の体制を整備する。また、中核機関として地域連携ネットワークの構築を図るとともに、地域における課題の把握と当事者ニーズに基づく支援について検討する。					
実施内容	<p>【成年後見制度利用に関する相談及び利用支援】 ()内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話、窓口、訪問等による成年後見制度に関する相談 延べ466件 (578件) 行政書士・社会福祉士無料相談会の実施 3回 9件 (3回 14件) あんしん後見相談(司法書士による相談)の実施 毎月1回開催 17件 (19件) 受任者調整会議への参加 5回 (6回) <p>【成年後見制度に関する広報及び啓発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 成年後見講演会の開催 1回 48名 (2回 延べ75名) 「おひとりさま」の終活講座の開催 6回 延べ247名 (3回 延べ95名) 相続について学ぶ講座 1回 31名 出前講座の実施 13回 265名 (8回 137名) 市報や社協だよりへの後見センター事業関連記事の掲載 <p>【市民後見人の養成及び市民後見人候補者の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> フォローアップ研修の開催 3回 延べ42名 (3回 34名) 市民後見人活動マニュアルの作成 <p>【地域連携ネットワークの構築及び成年後見制度の利用促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> あんしん後見相談、行政書士・社会福祉士無料相談会の実施 金融機関との意見交換会開催(市と共催) 後見人受任者連絡会への参加 <p>【その他の事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運営委員会の開催 3回 (4回) ・ 視察研修 1回 (2回) ・ オンライン研修他 					

指標		指標の根拠	単位	区分	R4	R5	R6
成果	相談件数	成年後見センターの中期的な取り組み目標	回	目標	380	400	400
				実績	578	466	
活動	出前講座	成年後見センターの中期的な取り組み目標	回	目標	15	15	15
				実績	8	13	
活動	フォローアップ研修参加者数	前年度実績	名	目標	58	34	42
				実績	34	42	

備考	
----	--

コスト内訳(円)			R4	R5	R6
収入	特定 財源	市受託金収入	11,943,648	16,168,893	
	特定財源合計 (a)		11,943,648	16,168,893	
	一般財源 (b)		0	0	
	収入合計 (c)		11,943,648	16,168,893	
支出	事業費 (b)		4,141,263	3,371,246	
	正規職員人件費		3,257,200	8,599,800	
		業務量(人)	0.4	1.10	
	嘱託職員人件費		3,564,880	623,520	
		業務量(人)	0.88	0.16	
	臨時職員人件費		894,240	522,690	
		業務量(人)	0.36	0.21	
	人件費合計 (e)		7,716,320	9,746,010	
支出合計 (f)		11,857,583	13,117,256		

単位当たりコスト(円)		R4	R5	R6
単位の定義		事業運営関係者及び関係件数		
実績数値 (g)		952	1,125	
単位当たりコスト(円) (f/g)		12,455.4	11,659.8	
実質収支比率(%) (c/f)		100.7	123.26	

実施状況に対する 評価	<p>成年後見センターおよび成年後見制度の周知をはかるため、広報及び啓発事業の強化に努めた。出前講座は目標としていた開催回数には届かなかったものの、前年度実績以上の回数、参加者数となった。「おひとりさま」の終活講座は定員を上回る申し込みがあり、急ぎ定員を増員して開催しており、市民の興味・関心に合致した事業を展開できている。相談件数の減少は、令和3年度に実施した単身世帯高齢者の生活不安に関するアンケート結果を受けての状況確認および継続相談がほぼ終了したことも一因となっている。</p>
------------------------	---

今後の方向性 【継続】	<p>市受託事業に基づき継続実施。</p> <p>単身世帯高齢者や認知症高齢者の増加が見込まれる状況を踏まえ、中核機関として、地域における課題の把握とニーズに基づく支援事業を検討・実施していく。</p> <p>また、市民後見人の誕生に向けて、市担当課や家庭裁判所と連携して体制づくりをしながら市民後見人候補者の養成と支援を継続していく。</p>
------------------------	--

令和6年度 事務事業評価表

事務事業名	13 訪問介護事業・障害福祉サービス事業	担当	総務係	事業種別	自主事業
開始年度	平成12年度	計画体系	基本目標3—実施計画3—(1)ヘルパーステーションの運営		
根拠法令等	社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程等				
事業区分	社会福祉事業	サービス区分	訪問介護事業サービス区分		
事務事業目的	<p>介護保険法に基づき、要介護者に対し、可能な限りその居宅において、その能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう配慮して、身体介護その他の生活全般にわたる援助を行う。</p> <p>障害者総合支援法に基づき、障害のある方に対して、日常生活や社会生活を営む上で必要な家事等、生活等に関する相談助言その他の生活全般にわたる援助を行う。</p>				
実施内容	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問介護計画等に基づき自立支援に向けたサービスの提供を実施 ケアマネジャー・関係市町村及び保健・医療・福祉関係機関等との連携に努め、職員一人ひとりが社協ヘルパーとしての自覚を持ち、適切なサービスを提供した。 <p>【利用実績】 () 内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪問介護令和5年度延べ利用者数172件 (237件) 総合事業令和5年度延べ利用者数86件 (103件) 障害福祉サービス令和5年度延べ利用者数97件 (100件) <p>【研修等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習会、事例検討会、研修会件数 9 回 (9回) <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 移動支援令和5年度延べ利用者数0件 (6件) ホームヘルプオプション令和5年度延べ利用者数21件 (25件) 				

指 標		指標の根拠	単位	区分	R4	R5	R6
活動	訪問介護・総合事業利用者数	訪問・総合事業月平均利用者数30名と設定	件	目標	350	360	360
				実績	340	258	
活動	障害福祉サービス事業利用者数	障害福祉サービス事業月平均利用者数10名と設定	件	目標	120	120	120
				実績	100	97	
				目標			
				実績			

備考	
-----------	--

コスト内訳(円)		R4	R5	R6
収入	事業収入 (オプション)	50,500	45,000	
	特定 財源			
	介護保険事業収入	10,123,497	7,385,249	
	障害福祉サービス等事業収入	2,450,821	2,365,192	
	特定財源合計 (a)	12,624,818	9,795,441	
	一般財源 (b)	1,026,400	2,500,000	
	収入合計 (c)	13,651,218	12,295,441	
支出	事業費 (d)	593,382	387,564	
	正規職員人件費			
	業務量(人)			
	嘱託職員人件費	7,899,450	7,599,150	
	業務量(人)	1.95	1.95	
	臨時職員人件費	4,843,800	4,853,550	
	業務量(人)	1.95	1.95	
	人件費合計 (e)	12,743,250	12,452,700	
	支出合計 (f)	13,336,632	12,840,264	

単位当たりコスト(円)	R4	R5	R6
単位の定義	全体利用者数(件)		
実績数値 (g)	471	389	
単位当たりコスト(円) (f/g)	28,315.6	33,008.4	
実質収支比率(%) (c/f)	102.4	95.8	

実施状況に対する 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問介護計画、居宅介護等計画に基づき、関係機関と連携し自立に向けたサービスを提供することができた。 ・ ヘルパーひとりひとりの質の向上を目的とし、学習会や研修会、個別会議等を実施し、働きやすい環境を整備するとともに、メンタルヘルスにも考慮した対応に努めた。 ・ ヘルパーの高齢化により、事業推進にあたり今後の検討課題とする。
----------------	--

今後の方向性 【継続】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立に向けた支援やいつまでも在宅で安心して生活ができるようケアマネジャーや各関係機関と連携し、継続した支援を行っていく。
----------------	--

令和6年度 事務事業評価表

事務事業名	14 多胎児産後ヘルパー派遣事業	担当	総務係	事業種別	市受託事業
開始年度	令和3年度	計画体系	基本目標3—実施計画3—(1)ヘルパーステーションの運営		
根拠法令等	社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会指定訪問介護事業所多胎児産後ヘルパー派遣事業運営規程				
事業区分	社会福祉事業	サービス区分	訪問介護事業サービス区分		
事務事業目的	多胎児を養育する家庭に対し、育児支援を行うヘルパー等を派遣し育児の支援を行うことで多胎児家庭特有の育児負担感や孤立感の軽減を図る。				
実施内容	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授乳、食事補助、おむつ、衣類交換、沐浴、入浴補助、外出補助等の育児支援や4カ月、10カ月健診の同行支援の実施 <p>【サービス条件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者：出産後1年未満の多胎児を養育している家庭 利用時間：原則週9時間以内の範囲内 提供日時：月曜日から金曜日まで午前9時から午後5時まで <p>【利用件数】（ ）内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度延べ利用回数294回（218回） 令和5年度延べ利用時間742時間（635時間） 				

指標		指標の根拠	単位	区分	R4	R5	R6
活動	利用回数	経年的管理実績	回	目標	200	200	200
				実績	218	294	
活動	利用時間	前年度実績	時間	目標	600	635	742
				実績	635	742	
				目標			
				実績			

備考	
----	--

コスト内訳(円)		R4	R5	R6	
収入	特定 財源	受託金収入	1,257,300	1,877,500	
	特定財源合計 (a)		1,257,300	1,877,500	
	一般財源 (b)		0		
	収入合計 (c)		1,257,300	1,877,500	
	事業費 (d)		58,686		
支出	正規職員人件費				
	業務量(人)				
	嘱託職員人件費		1,255,810	1,208,070	
	業務量(人)		0.31	0.31	
	臨時職員人件費				
	業務量(人)				
	人件費合計 (e)		1,255,810	1,208,070	
支出合計 (f)		1,314,496	1,208,070		

単位当たりコスト(円)		R4	R5	R6
単位の定義		利用時間 (時間)		
実績数値 (g)		635	742	
単位当たりコスト(円) (f/g)		2,070.1	1,628.1	
実質収支比率(%) (c/f)		95.6	155.4	

実施状況に対する 評価	<p>母親の育児負担や孤立感の軽減を図るため、育児支援するにあたり最大限の配慮と責任感を持ち、サービス提供を行った。</p> <p>4、10カ月健診同行時、保健師による発育、発達相談、栄養士による離乳食の進め方に参加、通院同行時に乳児外来の発育・発達相談へ参加するなど積極的に取り組んだ。必要な時は、初回同行訪問時、毎月実施報告書の提出時等に担当保健師との相談を行った。</p> <p>訪問介護事業所では、高齢者、障がい者を主にサービス提供していることから、育児を担えるヘルパーの人材育成が難しい。また、多胎ヘルパーの派遣依頼があった際に迅速に対応できるよう、ヘルパーを待機するため本業である高齢者・障害者サービスの依頼を断ることがあり赤字経営の原因となっている。</p>
----------------	--

今後の方向性 【改善】	<p>育児疲れの一助となるよう継続したサポートを行い、保健センターとの連携を図りながら人材確保に向けた適正な委託費の検討等も踏まえ継続実施とする。</p> <p>育児サポートを専門とするヘルパー確保等の調査検討も視野に入れる。</p>
----------------	---

令和6年度 事務事業評価表

事務事業名	15 居宅介護支援事業		担当	総務係	事業種別	自主事業
開始年度	平成12年度	計画体系	基本目標3—実施計画3—(3)居宅介護支援事業所の運営			
根拠法令等	社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程					
事業区分	社会福祉事業	サービス区分	居宅介護支援事業サービス区分			
事務事業目的	介護保険法に基づき、要介護者に対し、その能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう居宅介護サービス計画を作成し、適切なサービスの調整を行う。また、令和4年12月にふじみ野市と要介護認定調査委託契約を締結し、業務実施している。					
実施内容	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業実施にあたり、関係市町村・保健・医療・福祉関係機関等と連携を図りながら利用者や家族の状況を把握し、ケアプラン作成に努めた。 <p>【利用件数】 () 内は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度延べ件数1,042件 (1,022件) 契約利用者数 80名 (令和6年3月現在) <p>【研修等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ケアプラン作成に当たって適切な対応ができるよう研修会及び勉強会を実施した。 令和5年度研修、勉強会件数12回※月1回の所内研修又は勉強会 (33回) <p>【要介護認定調査実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度実績 25件 (4件) 					

指標		指標の根拠	単位	区分	R4	R5	R6
活動	計画作成延べ件数	前年度実績	件	目標	1,140	1,140	1,140
				実績	1,022	1,042	
				目標			
				実績			
				目標			
				実績			

備考	
----	--

コスト内訳(円)		R4	R5	R6	
収入	特定 財源	市受託金収入	17,600	96,800	
		介護保険事業収入	13,143,269	13,307,312	
		特定財源合計 (a)	13,160,869	13,404,112	
		一般財源 (b)	2,146,000	800,000	
	収入合計 (c)	15,306,869	14,204,112		
支出		事業費 (b)	1,271,036	948,703	
		正規職員人件費			
		業務量(人)			
		嘱託職員人件費	13,408,810	11,691,000	
		業務量(人)	3.31	3.0	
		臨時職員人件費		2,489,000	
		業務量(人)		1.0	
	人件費合計 (e)	13,408,810	14,180,000		
	支出合計 (f)	14,679,846	15,128,703		

単位当たりコスト(円)		R4	R5	R6
単位の定義		利用者数(件)		
実績数値 (g)		1,022	1,042	
単位当たりコスト(円) (f/g)		14,363.8	14,518.9	
実質収支比率(%) (c/f)		104.3	93.9	

実施状況に対する 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や家族の状況を把握し、関係市、民生委員、各種サービス事業所、関係機関等と連携して利用者本人が望む環境で在宅生活が継続できるよう居宅介護サービス計画の作成に努めた。また、居宅介護サービス計画作成にあたって適切な対応ができるよう研修会及び勉強会を実施した。職員体制は嘱託職員3名、臨時職員1名の計4名でサービス提供を行った。 ・令和5年度は新規利用者14名を受けたが入院3名、入所8名、死亡10名、要支援1名となり、結果として利用者数の増とはならなかった。月1回の研修又は学習会を実施し、BCP計画策定にあたり災害時利用者確認チェックシートの更新と災害時所在安否確認を行うための一覧表を作成した。
------------------------	---

今後の方向性 【継続】	<p>ふじみ野市において、少子高齢化が急速に進む中、また、市内における居宅介護支援専門員や認定調査(員)事業所不足の中、本事業は社協が実施する事業として必要とされるものである。今後も、中立で公正なサービスの提供に努め、専門員のスキルアップを図る。課題は、担い手である専門員の確保、令和6年度は2名のケアマネジャーでのスタートとなるため、引き続きケアマネジャーの募集を行う。</p>
------------------------	--